

## 2013年度（平成25年度）実施 学校評価＜自己評価＞について

学校法人 梅花学園  
梅花中学校・高等学校

【アンケート実施期間：2013年10月9日～23日 対象：専任教員 回答：46名】

昨年度と同様に、学校運営15項目・教育内容14項目・生徒指導支援6項目・教員研修資質向上5項目を設定し、各項目ごとに、「A：よくあてはまる」「B：ややあてはまる」「C：あまりあてはまらない」「D：まったくあてはまらない」の4段階で自己評価を行った。集計はAからDそれぞれの評価を、各項目の全回答数に対するパーセンテージで示した。集計結果から前回調査以後、改善された点、対応が必要な点などを洗い出し、今後の改善目標を明らかにした。

### 【総括】

今回も昨年と同様にDの値が最大値になった項目はない。Cが最大値になった項目は10項目あり、昨年より2項目増加した。その2項目は財務関係の「財務状況の把握」「評議員・理事会機能」であり、昨年のまとめでは20ポイント以上A、Bの値が増加した項目である。昨年度は財務説明会が実施され評価が上がったと考えたが、今年度は、職員会議において財務状況についてたびたび言及されているが、財務説明会の実施はなく具体的な数字で状況が示されていない点に原因があると考えられる。

残り8項目は残念ながら昨年と同じ項目であるが、「会議の有効性」および教員研修に関する5項目は、Aの回答の値が10%程度増加している。個々の委員会が頻繁に行われ、問題点を見つけ改善していく取り組みが行われていることが評価されていると考えられる。「教員と事務職員の連携」「地域交流」については変化がなく取り組みが進んでいない。

年度比較で評価が高まった項目は、教育内容の「健康・食に関する指導」「生徒会活動支援状況」「読書推進」「スポーツ・芸術文化」である。これらは、文化祭での文化発表会や授業前のサタドク（土曜日朝の読書の時間）、梅田芸術劇場での芸術祭など今年度新たに始めた取り組みが評価されたと考えられる。

年度比較で値が下がった項目は、先にあげた財務関係以外に危機管理2項目と生徒支援の「学習指導」「カウンセリング体制」である。危機管理については、不審者侵入防止・侵入時の危機管理マニュアルが2004年に作成され、2005年2008年に改訂されたのを最後に見直しを実施されず、また、避難訓練・防災訓練を毎年実施しているが災害時のマニュアルや教職員の動きについての確認が徹底できていない事が評価に現れているものと考えられる。「学習活動」については定期テストや模擬テストの結果などからも、生徒の学習状況や定着度の変化に対応が遅れていると感じているのではないかと推測される。「カウンセリング体制」は週1日のカウンセラー来校と梅花女子大学大学院心理・教育相談センターとの連携を実施したが、以前の体制から後退したと考える教員が多いと考えられる。

### 【昨年度からの重点課題】

①教員の校内研修の充実および外部研修への参加を進める。

評価：改善傾向にある。

取組状況・成果：英語科の教員向け音読指導の研修を継続している点、生徒対象のものも含め大学からの講師や校外の専門家からの指導などが結果に現れたと考えられる。

②危機管理の取り組みを充実

評価：下がっている。

取組状況・成果：訓練の回数・内容は昨年と同様であるが、内容的な発展が見られない事が評価を下げた原因と考える。

現在、災害時の危機管理マニュアルを学園レベルで作成中である。また、食糧備蓄（缶詰のパン）を3年計画で進める計画を立て、今年度1年目の備蓄を終えた。

③モラル・人権・環境各教育の充実のための、教員のスキルアップや総合的な学習の時間等の有効利用

評価：横這い。

取組状況・成果：作業所訪問やその発表会など人権教育は例年通りのプログラムを継続しているため一定の評価は保っている。

総合学習の時間等を利用しての生徒発表や外部講師の講演など、新しい取り組みが必要。

④梅花女子大学大学院心理・教育相談センターとも連携をはかり、カウンセリングを必要としている生徒の社会への適応能力の向上をはかる。

評価：下がっている。

取組状況・成果：心理・教育相談センターでのカウンセリングを受けやすくするために専用時間帯の設定や問い合わせを保健室で受けるなど制度の変更を行った。しかし、スクールカウンセラーの滞在を週4日から1日に変更した事が評価の原因と考える。心理・教育相談センターとの連携を今後も強めていく。

【今後の重点課題】

①生徒指導充実のため、教員のスキルアップをはかる

- ・教員向けの研修として、学期ごとに、学習指導生活指導・保健カウンセリング・人権などのテーマを設定し継続的に研修を実施する事を検討する。具体的には携帯スマートフォンなどの問題点や生徒支援体制など。

②学習指導・カウンセリングなどの生徒支援のさらなる充実

- ・上記①の成果を生徒支援につなげていく仕組みを検討し実施していく。

③危機管理を徹底する

- ・災害時の危機管理マニュアルの完成、不審者侵入防止・侵入時の危機管理マニュアルの改訂、火災・防災訓練の内容充実を図る。

④財務関係（職員との連携）の理解を深め、コスト意識を高める

- ・財務説明会や評議員会の報告等を職員会議で実施していく。